

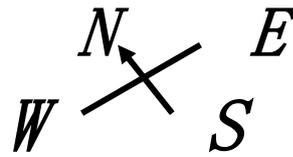
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡
(略称) 藤沢エコネット

2019年7月1日

第302号



主
な
記
事

- ・総会 2018年活動報告 19活動計画
- ・ストップ!異常気象 国・地方の対策は
- ・ヤップ「男の家と海」
- ・放射能測定値

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

青柳 ☎ / F A X 0466-87-4922

第7回 ふじさわ石けんまつり

藤沢市民会館第2展示ホールで2019年6月28日(金)にふじさわ石けんまつりが行われました。

単なる売り手、買い手ではなくこのまつりには、きっと何かが生まれる、そんな願いをもって、回を重ねるにつれて、会場が暖かくほぐれていくようなそんな好印象がありました。

「伝えたいこと・話したいこと、十分にできました。お客さんもきっと満足して下さったと思います。来年も参加します」「私が石けん派になったきっかけは魚です。釣りが大好きだったんです」石けん会社の社員募集の広告に漁業組合の文字があり「魚と関係があるの!」そんな興味から応募し入社。さっそく大船渡に石けんを運ぶ仕事があり、海のおっさんたちからいろいろ話を聞き、この大海原、大自然と石けんが係わることが分かり、今、夢中です

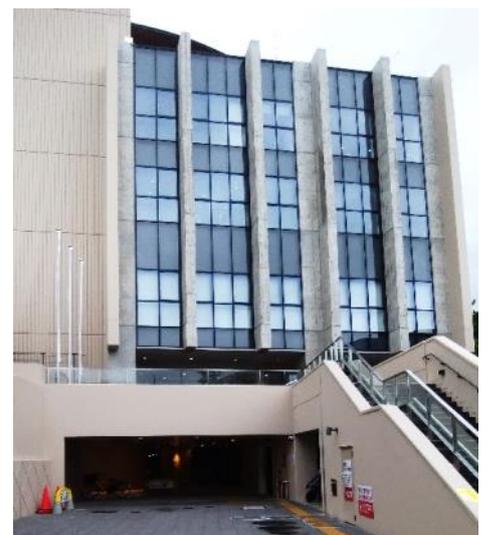
「ボクはファーストフードに勤めていたんですが手が荒れて、手が荒れて!石けんを使うと良いと聞いたのですぐ転職!頑張っています。ボクは石けんの良さを実感しています」

「とにかく手にして欲しい、使って欲しい! 使えば分かります」「石けんを使うと楽しい」「石けんを使うといろいろなことを考えるように」「石けんは未来を考える」等々 石けんメーカーや活動団体の人たちが、まるでエール交換するような、この語り合いがいつか大きな力になるといいですね。

来場者のアンケートも膨らみました。「よかった」「楽しかった」「良くわかった」の他に「石けんや水のこともっと知りたい」「水道の民営化?」「水道法は」「食品や子育てのこと」「海水中の放射能?」

『もう少し大きなイベントにしてもいいかも』等々

来年はミニ講座を加えてみようかしら。藤沢市の後援を受けていますがさらに環境都市ふじさわと共催が叶ったら、などともう来年の企画に夢がふくらんでいきます。 手塚弘子(藤沢市せっけん推進協議会)



Fプレイス (2019.4月にオープンした藤沢労働会館 藤沢公民館 子どもの家などがある複合施設)

藤沢エコネット2018年度活動報告 (2018.5~2019.4) 2019.6.23

東日本大震災福島第1原発事故から8年を過ぎ、2017年から帰還困難・居住制限区域を除き、帰還が始まっているが、帰還した人は2割程度、学校に通い出したが、住まいは遠く離れているなど帰還は進んでいない。避難者はピーク時に約16万5千人だったが、現在も福島県内外に約4万2千人いる。福島県の子どもの甲状腺がんは、211名を超え、放射能の影響を避けるための保養活動が求められている。

原発ゼロだった約2年間の後、2015年に九州電力川内原発が再稼働、現在9基が稼働している。原発輸出はすべて頓挫した。原発ゼロ法案が上程され1日も早い原発ゼロ政策を実現する必要がある。

異常気象が顕著になってきた。原因である温暖化ガスを削減するために、パリ協定の実質ゼロを2050年までに、をめざし、省エネルギー、再生可能エネルギーが求められている。現在水力を含む再エネは日本14.5%、ドイツ31.6%。

藤沢市エネルギー計画ではCO2を2022年までに40%削減の目標で、2015年度までに27.7%削減した。行政、市民総力上げて、省エネルギーと再生エネルギーを進める必要がある。

バイオハザード予防活動で、昨年湘南ヘルスイノベーションパーク（通称湘南アイパーク）となった武田薬品工業は、現在製薬会社3社を含む42の会社が雑居するパークに変貌した。安全・安心な研究体制がどうなっていくのか、監視を強める必要がある。

プラスチックごみが魚の内臓に発見されるなどプラスチックごみやマイクロプラスチックが世界の海を汚している。プラスチックを使わないお店が藤沢に誕生した。

(1) 脱原発の活動 ◆ '18/6/2 総会・学習会「原発ゼロ基本法案とは？」近江屋信広 ◆放射能測定 公共施設などの空間放射線量測定 ◆保養活動 「ふくしまっ子リフレッシュ IN 湘南」(2018夏および2019春) 年2回、福島の子どもたちとともに・湘南の会の保養活動に協力し延べ59名を招いた。「いのちかながわ」保養団体の連絡会で、国への支援要請をおこなった。

(2) 地球温暖化防止活動 ◆10/12 学習会「地産地消エネルギー 藤沢の現状と課題」山口環境総務課長 ◆温暖化対策連続学習会1月から4回実施 理解を深めた。 ◆国の第5次エネルギー基本計画(原発はベースロード電源2030年に20~22%、自然エネルギー22~24%)を批判し、再生エネを押し進める運動が求められる。

(3) 大気保全活動 ◆6月と12月に藤沢の空気を考える会でNO2大気汚染調査と年1回のぜん息調べをおこなった。ぜん息の学童が増えている。夏のNO2測定平均は環境基準をクリアしたが、冬は環境基準を大きく超え、汚れていた。大庭隧道など依然として大気汚染は深刻である。

(4) 環境影響問題 ◆武田問題対策連絡会の活動に協力
 ・10月総会と「遺伝子組み換えルーレット」上映
 ・12月 漏えい事故7周年門前行動。

(5) 開発問題その他
 村岡新駅建設に県が%拠出すると発表され、にわかには新駅建設が動き出した。駅舎のみで約190億円、周辺開発費を入れると膨大になる。来年度決定に向け、学習、情報提供をしていく。東京オリンピックに向け、藤沢駅舎や江の島栈橋の改修工事が行われている。

(6) 環境情報交換活動
 ◆11月 藤沢市環境フェアに参加。実行委員として準備協力した。3700人参加。盛り上がった。
 ◆ニュース2018年4月号(287号)~2019年3月号(298号)発行。毎月約430部。
 ◆HPは、ニュース前月号までを掲載している。
 ◆WEB会員にニュース毎月カラー写真入りで届けている。

2018年度 決算 ・19年度予算			
収入の部			単位:円
科目	決算	備考	19年度予算
繰り越し	21,244		19,310
会費	136,000		140,000
寄付収入	43,700	寄付	40,000
事業収入	11,100	講座参加費	30,000
雑入	0	チケット戻し	690
合計	212,044		230,000
支出の部			
科目	決算	備考	19年度予算
講師謝礼	15,000	1回	40,000
会場費	9,520	会議室等	10,000
印刷費	26,908	印刷 コピー代	33,000
通信費	128,589	切手 メール代	130,000
消耗品	8,337	封筒 ラベル	14,000
雑費	4,380	広告ほか	3,000
次期繰越	19,310		0
合計	212,044		230,000

2019年度活動計画

藤沢エコネット(2019.4~2020.3)

戦争は最大の環境破壊、人権破壊である。平和安全法制(戦争法)が2015年に成立後、政権は更に憲法を改正し、憲法に自衛隊を書き込もうとしている。

原発は現在9機が稼働中であり、首都圏にある40年を経た東海第2原発まで再稼働されようとしている。原発は処理不可能の廃棄物を日々吐き出し、原発事故は回復不可能の環境汚染となる。

地球温暖化防止はまったなしの課題である。省エネルギー、再生可能エネルギーへの変換に向け、学習会、提言活動に取り組む。

藤沢エコネットは「人間が住むにふさわしい環境都市藤沢の実現」において、藤沢市内外で活動する市民の活動と情報交流及び共通する課題での共同の場をつくる活動を行う。

- ・例会・事務局会議 — 毎月1回第1土曜日
- ・ニュース発行—毎月1回印刷発送 WEB 会員にニュース送付 5月に300号記念号を発行
- ・ホームページ更新—環境情報発信
- ・環境講座開催— 春「ストップ!異常気象・気候変動~国・地方の温暖化対策はどうすべきか!」講師 歌川学(産総研安全科学部門主任研究員) 秋 自然観察会 ごみ処理調査見学会など
- ・ふじさわ環境フェア参加—企画運営委員会メンバーとして取り組む。展示など参加。
- ・共通する課題での活動
 - 地球温暖化防止・自然エネルギー問題
 - 脱原発活動—原発ゼロをめざして学習し意見書提出など 放射能の影響から健康を守る活動や学習会
 - 平和問題—戦争への準備を許さず、平和と民主主義を守る提言活動
 - 開発問題—大型開発から自然を守り、谷戸や里山海の自然を守る
 - 大気問題—一年2回全国一斉大気測定(NO₂) ぜん息調査 学習会
 - 環境影響問題 —武田薬品工業バイオ問題等
 - ごみ問題—ごみ減量リサイクル、ごみ有料化問題
 - その他—環境に関する政策提言 シンポジウム開催など



以上

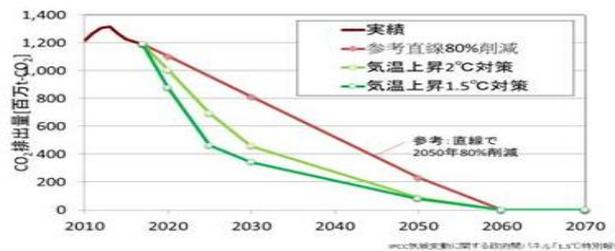
ストップ!異常気象・気候変動国・地方の温暖化対策はどうすべきか

藤沢エコネット学習会が標記のテーマで行われました。講師は歌川学さん(産業技術総合研究所主任研究員)。

近年の日本の異常気象は温暖化によるもので、昨年の長期間豪雨、猛暑、気温上昇は様々な悪影響を及ぼす。温暖化によることは明らかである。

IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)ではこのままでは100年に4~5℃上昇、2030年には1.5℃上昇、抑制に早期の対策が必要と警告、2050年までに温室効果ガス排出量をゼロにすることが求められる。排出ゼロを英国、フランス、フィンランドなど多数、先進国とフィリピンなど新興国・途上国ではCO₂排出量の差がある。

日本における気温上昇2℃、1.5℃経路の例
特定の年の削減率だけでなく累積排出量を抑える必要。



日本のCO₂排出量 エネルギー消費量では福島原発事故以降省エネが進み再生可能エネルギーも増加した。日本の温暖化対策の可能性—工場、オフィス、運輸では大きな省エネの可能性もある。また電気自動車の技術も進展し省エネになる。日本で優れた省エネ技術、電気自動車普及、などで2050年には2010年に比べエネルギーの半減、CO₂は1990年に比べ95%削減で、気温上昇を1.5℃未満の温暖化対策が可能とみられ、早期の対策が必要である。地域によって異なるエネルギー構成があり、地域の特性に応じた対策が必要。藤沢では今後検討。

地域の発展のために—光熱費の支出は巨額であり、神奈川県では年間2兆円と推定される。化石燃料の輸入代金は海外の大手に流出するようなことになるが、再生エネは化石燃料を減らし、かつ国内産業に支払うため雇用も生まれる。積極的な設備投資をすることで、後戻りのない効果的な温暖化対策となる。省エネ・再生エネルギー地域内普及でお金の流れが変えられる。

市民への期待—家庭の対策だけでなく、家庭以外の排出削減を促す仕組みづくりのなどに関与し、国、地域全体の排出削減に寄与すること。(日比遥)

ヤップ「男の家と海」

ヤップ島には石貨に並ぶ象徴的なものとして「男の家」があります。ヤップの父系社会の編成基盤として欠かせない建物。男性の仕事や伝統的技能の伝承の場（合宿所のようなもの）として重要な施設でもありました。ほとんどが海辺に面しているこの建物は、海から訪れる際の玄関口や、船着き場（マリーナ）としての機能も果たしていました。



(海から見た「男の家」)



(撮影水深2m)

早朝、この「男の家」の前に広がる湾で珊瑚の状況を見に行きました。スノーケリングで確認できる水深2m～5m。そこに広がる見事な造礁サンゴ。

その美しい姿に思わずホッとしました。久しぶりに見る健康な生物の姿には元気が出るものです。

明日ヤップ島出航、最終地パラオを目指します
(太平洋航海中 2018.5 武本 匡弘)



放射能測定値（市民計測）

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上 50cm
6/20 F プレイス 2 階入り口 0.058
6/20 藤沢駅 JR 切符売り場 0.039

ECONET INFORMATION

▲福島っ子リフレッシュ in 湘南

夏のリフレッシュを行います

7/22(月)-25(木) 今回はプール遊び、じゃがいも掘りなどを予定しています。慶応大学に3泊し遊びます。皆様のあたたかいご支援をお願いいたします
福島の子どもたちとともに・湘南の会

Email: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

▲「花はどこへ行った」ドキュメンタリー映画上映

～ベトナム戦争のことを知っていますか

7月10日(水) 14:00- 18:30- (2回)

エコストアパパラギにて ¥1000

主催/申込み エコストアパパラギ 0466-50-0117

▲「福島の実状と私たちの課題」

健康被害の実状 小児甲状腺がん

講師 牛山元美さん(さがみ生協病院内科医)

7月14日(日) 14:00-平塚市勤労会館

資料代¥300 ☎0463-58-7543

主催/福島の親子とともに平塚



▲原爆展 2019

核兵器のない平和な世界を

展示 DVD上映 紙芝居 すいとん 体験談など

7月22日(月)-24日(水) 10:00-18:00

ユークラブ湘南辻堂駅前店 コミュニティルーム

主催/問合せ ピースリレー・ふじさわ

090-9239-0864



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 77 切込ネット

◆事務局会議 7月6日(土) 14:00～

プラザむつあい

《編集後記》7月は参議院選挙があり、憲法改正、消費税率10%引き上げ、原発再稼働などが争点。憲法9条に自衛隊明記改正に反対は、立候補者アンケートでも過半数を超えたが(東京新聞)安倍首相はあきらめない。原発再稼働ストップは、目先の不利益で判断するのではなく、未来の子どもたちのために判断を。選挙に行こう！明るい未来をつくるために！(A)